



発行所 長野市立城山公民館  
 電話 232-3111  
 編集人 小池英樹  
 発行人  
 印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (3・8・1)  
 第1地区…2,820  
 第2地区…5,487  
 合計…8,307世帯

# 長野市11地区合同 「令和2年度成人式」無念の中止

令和3年8月9日(月)に延期されていた令和2年度成人者成人式は、7月下旬からの新型コロナウイルスの急激な感染拡大状況により、やむなく中止させていただきました。延期後の中止というところで、令和2年度成人者や関係の皆様にはたいへんなご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

## 成人者代表誓いの言葉

さて、式典は開催されませんでした。3地区の4名の成人者から誓いの言葉が寄せられていますので紹介させていただきます。  
 なお、紙面の都合で部分のみの紹介となることをご了承ください。(敬称略)

金子 颯杜(若槻地区)

現在私は、大学で看護学を学んでおります。これから生きていく上で必要になってくる力は、広い視野を持ちながらも周りの小さな変化に気づける力、活気力、諦めな力であり、そして苦しんでいる人の心の支えになれるような温かい心が大切であり、より多くの方に求められていると思います。

直江 大輔(三輪地区)  
 私は、高校からプロ野球

長野で生まれ育ち、家族・先生方・地域の皆様に教えていただき培った力や心を發揮することで、置かれた立場や状況が明確になり、何が求められ何ができるのか判断でき、行動していけると考えます。

松本 詩音(浅川地区)

『ふるさと長野への思い』を心におき、社会の発展に貢献できる人間に成長し挑戦し続けたいと考えております。  
 『成人二十歳』とはいえ、まだまだ未熟者の私たちです。今後も常に学び続ける姿勢を忘れずに、更に向上できるように歩んでまいります。

村田 果穂(三輪地区)

一昨年は、長野市を含め多くの地方が台風の影響を受けました。そんな中でも、前を向いて助け合っている人々の姿に感銘を受けるとともに、秋には水害に遇った林檎もたわわに実をつけ、その生命力の強さに驚かされました。

折々日記 山口 美緒

大学生活で長野県を離れた自分にとって、長野で慣れ親しんだ環境や文化、温かなつながりがえのないものであると感じています。自分の未熟さを実感することが多く、すぐに社会のために行動できることは少ないかもしれません。しかし、置かれた立場、状況の中で何ができるかを考え、努力を積み上げ、逆境を乗り越えた林檎のように実をつけていきたいと思えます。

植物の声なき声に耳を傾け、育み、恵みをいただくその一連の行動が、なにかと窮屈な日々の大きな癒しになります。かくいう植物はそんな気なしに一生懸命自身の命を燃やすのみですが。

今この私にできることはいくつもありますが、真面目に仕事に取り組む、一緒に働く方々、地域の方々にも信頼される働き方を目指し、地元を元気にしていきたいと思っております。

折々日記  
 「裏庭菜園の楽しみ」  
 山口 美緒

トマト、丸ナス、ししとうにピーマンを植えたわが家の裏庭菜園でしたが、梅雨のはじめに農家の友人が余った苗を分けてくれたので、急遽、追加で土をおこし、かぼちゃにブロッコリー、きゅうり、ハックルベリー、春菊、そしてとうもろこし2種類を作付け、みっちりとした畑になりました。  
 晴れ間の多い梅雨だったせいか、水さえあげればぐんぐんと成長し、7月も半ばともなると背丈をこえて伸びるものも。本紙発行の頃まで息長く収穫できることを祈りつつ、朝に夕にと畑をのぞきます。  
 植物の声なき声に耳を傾け、育み、恵みをいただくその一連の行動が、なにかと窮屈な日々の大きな癒しになります。かくいう植物はそんな気なしに一生懸命自身の命を燃やすのみですが。  
 畑を眺めながら七輪に炭をくべて、ちよつと焼き、ちよつと飲む。それだけでも至福。窮屈だからこそ、ささやかな楽しみづくりが日に日に得意になっていくのかもしれない。

### 「麦わらで作る笹籠講座」感想 追憶〜麦わらの笹籠

佐藤 あつ子

毎年回覧版で目にして気になってきた、麦わらで作る笹籠講座に今年参加でき、不格好ながら自作の笹籠を世に出すことができ、念願叶った幸せな時を過ごせました。

私が子どもの頃、農家だった実家では麦を栽培していて、刈り入れ後の麦わらで、毎年祖父が笹籠を編んでくれたものでした。それを妹と2人、とても楽しみにしていたのを懐かしく思い出しました。

### あゆむが 「親子ではじめての 茶道教室」感想

池田 英樹(父)

今回は、初めての茶道教室ということで、少々緊張しておりましたが、スタッフの方が優しく声をかけてくれ、リラックスして臨むことができました。

講師の方から、お茶を点てる作法と、お茶を頂く側の作法それぞれには、おもてなしの心、何より人を思いやる大切な意味があるのだと教えていただきました。また機会があれば、ぜひ体験してみたいと思います。

作業は、笹の会の方々のご指導と図解のプリントを頼りに進み、中には切れたり潰れたりする麦わらとの格闘に冷や汗も出しましたが、大小2つの籠を編むことができました。出窓に鎮座している不出来な笹籠ですが、目にするたび懐かしさがよみがえります。



笹籠に挑戦した小学生

池田 ひなた(子)  
お茶の味は少し苦かったですが、色は濃い緑色でとてもきれいでした。

正座をして少し足がしびれたりしましたが、とてもいい体験ができたと思います。



参加者の小学生親子

## 市民講座への参加 ありがとうございます!

### お風呂を楽しむ 「アロマテラピー講座」感想

池田 い和子

好きなアロマオイルを使ってバスボムと石鹸を手作りするって素敵だと思いい参加しました。

バスボムは、重曹・クエン酸・着色ハープ・水3滴・精油5滴を全部混ぜて、だまがなくなるまでひたすら「まぜまぜ」。皆せつせと、まだかなと声をかけながら楽しくやりました。あとは、容器に入れてスプーンで

### 「足跡巡り ウォーキング講座」感想

北條 千秋

善光寺の西方、葛山の中腹の地にある「静松寺」をご存じですか。源頼朝との縁故も伝えられる名古刹です。西部中学から戸隠古道をたどり静松寺までを往復する「史跡巡り」に6月23日参加しました。

西長野、新諏訪に残る古墳、馬頭観音や番所跡などの石碑、瓜割清水を経て戸隠古道に。静松寺までの道沿いには、御詠歌の刻まれた「三十三ヶ所巡り」

圧縮。簡単にできることに感動しました。

石鹸は、MPソープを溶かし精油と着色ハープを入れ固めるだけ!

最後に先生は、「ありがとう洗体」を教えてくださいました。風呂で体を洗う時、全体にありがとうの言葉をかけながらリラククスさせる。たいへん勉強になりました。

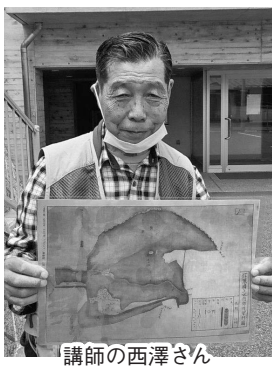


バスボム作りの様子

の観音像が残っていました。

明治の初めまで西山地域と善光寺町界隈を結び、人と物資が行き交うとともに人々の信仰の道でもあったことが偲ばれました。

地域の豊かな歴史と文化の深さを知るよい機会となりました。準備や解説をいただいた皆さんに感謝いたします。



講師の西澤さん

地域の学び講座 / 第3回大地セミナー  
**城山周辺を歩く** (巡検)  
～ 城山丘陵 その地質学的な生い立ちをさぐる ～

日時 令和3年10月16日  
13:00～15:00  
集合 城山公民館玄関前  
午後12:50  
巡検 城山公園一帯 (少雨実施)  
参加費 無料 (要事前申し込み)  
マスク着用

城山公民館へ  
☎232-3111

日本一のリノベーション集積地  
**善光寺門前町歩き**  
町歩き箇所3エリア

日時 9月30日(木) 9:30～11:30  
集合 善光寺仁王門前 9:20 (少雨・少雨実施)  
講師 箱山 正一さん  
その他 申し込み(電話)  
資料代 100円(当日) 少雨決行

お申し込み: 城山公民館  
☎232-3111(平日)

城山公民館恒例  
**夕方の渡り  
観察会**

日時 9月14日(火) 9:30  
会場 飯綱高原 びろろ・リュウパーク (スパイラル)

集合場所 スパイラル駐車場 正門そば  
講師 藤田伸二さん  
参加費 無料  
終了時間 正午の予定  
持ち物 マスク・イス  
双眼鏡 (肉眼の観察は不要)  
ビニールシート

申し込み 城山公民館  
☎232-3111(平日)

気象災害から  
**身を守ろう!**

講師 内田 寛さん  
【気象予報士】

日時 9月9日(木)  
午前10時～正午  
場所 城山公民館 第二地区分館  
参加費 無料【要予約】  
持ち物 上履き(スリッパ)・マスク  
申込み 城山公民館  
☎232-3111(平日)

これからの  
**市民講座**  
お申込みを  
お待ちしております

特別寄稿

城山公園 地下の不思議 その 4

謎の石 その①

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

城山は長野盆地の西縁に位置する丘陵で、断層の動きによつて隆起してできました。そのため、盆地の地下にある地層が見えている場所です。その地層から盆地の生い立ちを探ることができ、古くから研究者が注目してきました。

加えて、善光寺をはじめ横山城、堀切沢、鐘井堰など人々が作った古くからの構造物も残り、よりよく暮らすために自然の地形を利用、改変してきた場所でもあります。また、2014年の白馬村の神代断層で発生した地震では、この周囲で建物被害が集中しました。今後の防災・減災を考へる上でも地下の様子が気になるところで。

そんな中、城山公園で建設中の長野県立美術館の地下深さ約6mのところから、直径2m、高さ1・5mもある大きな石ころが出てきたという新聞記事（令和2年2020年6月19日信濃毎

日新聞）を読みました。これまで、そんな大きな石があるとは思わなかった場所です。しかも、そのうちの3個の巨石を庭に置き、来館者がやすりで磨いて、美術館のオブジェにするという企画が進行中とのこと。

この巨石はいつたいなぜここにあるのでしょうか？記事の写真からは表面が丸く見え、川が運んできたものの可能性があります。では、どこから流れてきたのでしょうか？北側に位置する大峰山や地附山をつくる石とは違うように見えます。これは、本物をみるしかない！と思つていた矢先、知り合いの美術館学芸員から、この石を見にきてほしいとの電話がありました。渡りに船とはまさにこのことで、念願かなつて、現場で石を見る機会に恵まれました。

石は、そのでできる場所によつて色や「岩質」、中に含まれる鉱物の種類や量など「岩相」が違います。地質学者はこれらを総合的に判断

し、「石の顔つき」という表現を用います。それぞれの山によつて生い立ちも異なるので、石の「顔つき」が違います。今回の磨きかけの石を見せていただきましたが、表面の風化具合や丸みから見て、川が運んだ巨礫であることは確実でした。また、大峰山や地附山にある白っぽい「裾花凝灰岩層」ではなく、灰色がかつた安山岩であることも確認できました。普段、よく見る飯縄山の溶岩や荒倉山周辺で海底火山が噴火した時の溶岩によく似た「顔つき」であることを感じました。さらに、この石の大きさからは大きな川が流れていたと考えられます。周囲の地形からみると、裾花川しか考えられません。さあ、次の証拠さがしの始まりとなりました。（次号に続く）



美術館地下から出てきた巨石

シリーズ我が町 栄町 区長 森 晴男



栄町区は、現在マンション（9世帯）を含めて全32世帯、60名足らずの、善光寺大本願と安養山極楽院西方寺に程近い閑静な住宅街です。

昔は、阿弥陀院町と言われ、「長野のあゆみ」にも掲載されていますが、その語源は不明です。

その後、明治7年（1874）11月8日の町名変更により、長野町が誕生したその年に栄町と改名し、現在に至っています。

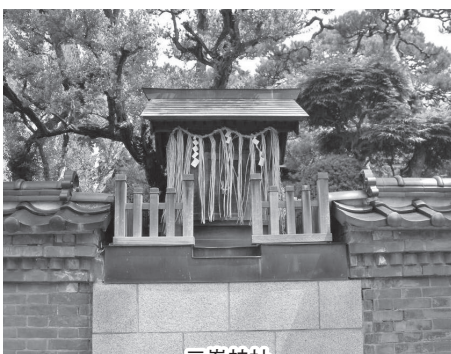
この町には、明治・大正・昭和にかけ、麻糸を扱う強力ないくつかの間屋があり、他に町内には魚屋・洋服店・旅館・精米所・酒屋等があり、日常生活に事欠かなかったとのことですので、現在では想像もつかないほどの繁栄ぶりがしのばれます。しかし、今では全く昔の面影はありません。また、世間には

れ渡るものもありません。

ただし、町内行事として、栄町祭神である三峯神社の秋季例大祭には、東西の通りを歩行者天国とし、神樂巡行・子ども神輿・花火、栄町自作のおでん販売も行われ、たいへんな賑わいでした。それは、地域住民の楽しみでもあり、当町の誇りでもありました。

しかし、少子高齢化の影響で、歩行者天国は中止せざるを得なくなりました。したがって、春秋の当町祭神の祭りは簡素化されましたが、町民のよりどころとなっております。

なお、今後の町の取り組みとしては、限られた人数で、いかに地域の活動及び役割を果たしていくかが課題です。



三峯神社

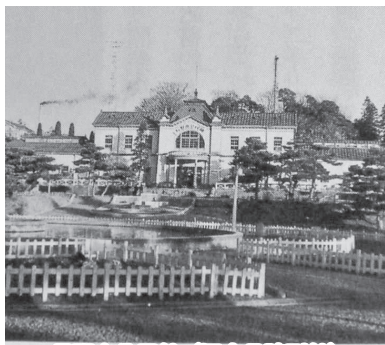


大正 4 年（1915）、大正天皇の即位を記念して整備された御大典記念公園（館報 184 号参照）には、当時東洋一の規模を誇った大噴水があり、長らく長野市民に親しまれてきました。この大噴水も、今回の県立美術館建て替え工事に合わせて再整備が行われました。

そして、7月7日に新しく噴水広場が開園し、城山公園中心部の姿は一変しました。

さて、かつて城山公園大噴水の東側には長野市公民館（旧商品陳列館）があり、長野市の社会教育を推進する役割を果たしていました。

昭和 21 年（1946）4 月、



長野市公民館（旧商品陳列館）

### 長野市公民館

文部省は公民館構想を発表し、戦後の日本社会における社会教育の重要性を説きました。そして、全国の市町村に公民館の設置をすすめました。この動きは、長野県も同様で、県の「社会教育実施計画案」により、公民館の管理・施設・運営等について具体的な方向性を示しました。これにより長野県では、全国に先駆けて多くの公民館が設置され、公民館活動が積極的に進められていくことになったのです。

長野市では、長野軍政部教育課から「市は、率先して完備した公民館を設置するよう」すすめられました。これを受け、昭和 22 年 12 月 20 日開催の第 1 回運営委員会で、館長に松橋久左衛門市長を選任し、この日を長野市公民館開設の日としました。公民館は旧商品陳列館（館報 188 号参照）を改修してあてることになりました。

しかし、昭和 24 年に開催された長野平和博覧会では、公民館が「アメリカ文化館」とされたため、公民館活動は休止状態になりました。続いて 25 年には CIE（総司令部民間情報教育局図書館）に建物



日米文化センター図書室（旧 CIE 図書館）

を提供したため、28 年に元の建物に戻るまで移転を繰り返すことになりました。

そして、昭和 39 年（1964）11 月、信濃美術館建設のため、かつて城山館のあった高台に長野市公民館が移転して現在に至っています。

長野市公民館は、昭和 41 年 10 月に長野市中央公民館と改称され、文字通り市の社会教育センターとして市民を対象にした成人学校を開設するなど、全市民的な公民館活動を展開していきました。（小池）



多くの研修・講座・講習が行われた長野市公民館

### 新刊図書のご案内

- |               |        |
|---------------|--------|
| 嘘かまことか        | 平岩 弓枝  |
| 青い孤島          | 森沢 明夫  |
| 食べられる庭図鑑      | 良原 リエ  |
| いつてきますね       | 長田 真作  |
| 野菜まるごと冷凍テクニック | 島本 美由紀 |

### あちこちスナップ



頼朝山静松寺（茂菅）

静松寺は、茂菅北部の山中を通る戸隠古道沿いに佇む古刹。源頼朝にゆかりのある寺と伝えられている。

静松寺の参道には、三十三ヶ所の巡拝塔（観音像）が安置され、古くから人々の観音信仰の拠りどころとなった。現在は 25 体ほどが残されている。



### 編集後記

館報の打合せで、メンバーが集まったの雑談。「また、懐かしい施設が無くなりますね」という一言。そう嘆く人は少なくないでしょう。

いま、噴水広場の衣替え工事が完了し、いよいよ、その周辺、城山一帯の風景を一変させる開発が進められることになりました。昔を知る人の思いを立地の歴史と共に、せめて、この館報に刻めないものかと、ふと思ってしまいました。（萩原）